

【美術】※美術は、月に1度の課題となります。

＜内容＞

- 鉛筆を使って身近にあるお気に入りのものを描いてみましょう。

＜取り組み方＞

- 1 鉛筆と、A4サイズ程度の紙を準備しましょう。（スケッチブック等でも可）
- 2 教科書P8を参考にして、身のまわりにあるお気に入りのもの（大切なもの、思い出のあるものなど）から、描きたいものを見付けましょう。
- 3 紙の真ん中に、大きく描くようにしましょう。
- 4 まずは大まかに形の特徴をとらえてから、細かな形をよく観察して描きましょう。
- 5 立体感を表すために陰影を付けたり、硬さや柔らかさなどの質感を表すために強く描いたり弱く描いたりして、鉛筆の使い方を自分なりに工夫してみましょう。
- 6 完成したら、作品の裏に、「①作品の題名」「②描きたいものを選んだ理由」「③うまく表せたところ・難しかったところ」を記入しましょう。

動画の解説もあります。↓



※さらに取り組みたい人はこちらのチャレンジ課題に挑戦してみてください。

＜チャレンジ課題＞

- ・関連のある2～3つのものを組み合わせて1枚の絵にしましょう。
- ・少し重ねたり角度を変えたりして、置き方も工夫してみましょう。
- ・完成したら作品のイメージに合った題名を工夫して付けてみましょう。

例) ランドセルとリコーダー 「小学校時代」
風鈴とうちわ 「夏の思い出」 など



※その他の取り組み方は必修課題と同じです。

＜学習のヒント＞

- ・自分が少しでも興味のある「描いてみたい」と思うものを見付けることが一番大事です。ここに時間をかけましょう。
- ・技術的にうまく描くことにこだわりすぎず、選んだものに対する思いや、よく観察して表すことを大事にしましょう。
- ・利き手ではない手を使って描いてみると、ゆっくりとしか描くことができない分、じっくりとももの見つめる力と、ものの形に沿って描く力が身に付くので、興味のある人は、練習として試してみるとよいですよ。
- ・教科書P12.13「見つめると見えてくるもの」も参考にしてください。